

政策カルテ

1. 政策の位置づけと目標

		主管課	生涯学習課							
政策の柱	市民の学ぶ意欲と豊かなこころを育むために		取組の基本方向 「生涯にわたる学習活動を促進する」ため、地域での学習活動を通してまちづくりなどに貢献するための「社会をつくる人づくりの推進」、地域全体で子どもを育成していくための「家庭・地域の教育力の向上」、市民の主体的な生涯学習活動を促進するための「生涯学習活動への支援充実」に、重点的に取り組めます。							
政策名	1 生涯にわたる学習活動を促進する									
目標	子どもから大人まで、市民の誰もが自分に合った学習の機会や場を得られるとともに、意欲をもって地域のための活動に取り組んでいます。		政策の指標	自分にあった学習の場や機会を得ることができていると感じている市民の割合						
政策を取巻く環境	少子高齢化や都市化・核家族化の進行、大幅な景気後退など、急激な社会環境の変化により、家庭や地域の教育力低下や、地域社会、まちづくりにおける新たな課題が生じているため、このような社会情勢に柔軟に対応し、課題を解決できるよう、生涯にわたる学習活動を促進することが重要である。		政策指標の進捗状況	H19：基準	H20	H21	H22	H23	H24：目標	進捗状況
				36.1%	30.6%				48.0%	63.8%

2. 政策の評価

現状と課題の分析	政策指標の進捗状況は5.5ポイント下降しており、市民の学習ニーズの多様化とともに、学ぶ意欲はあるが、自分にあった学びが見つけれない市民が増加していることなどが考えられる。各施策の状況から、市民の生涯学習事業に対する重要度が十分に認識されていない状況が見られ、市民への十分なPRはもとより、社会的ニーズに基づく新たな学習プログラムの創出を図りながら、意識啓発に取り組んでいく必要があると思われる。また、今後はさらに市民主体の魅力ある学習活動・地域活動に向けた支援や環境の整備に取り組む必要がある。
----------	---

3. 政策を構成する施策一覧

	施策名	施策の達成状況				施策の二次評価	市民の意識		
		施策の指標	H19：基準	H20	H24：目標		進捗状況	満足度	重要度
1	社会をつくる人づくりの推進	全生涯学習センターで開催される講座・事業への延べ参加者数	30,814	48,535	34,000	142.8%	市民一人ひとりの人間力を高めるために、子どもから大人まで幅広い世代が身近な所で学習機会を得て、地域活動に取り組むことは、政策目標の達成において重要な役割を担っている。今後は、地域に貢献できる人づくりに取り組むため、成人教育のあり方の検討、地域人材の交流・活躍の場の提供等も含め、事業内容の充実に努めること。	20.5%	55.5%
2	家庭・地域の教育力の向上	放課後子ども教室に係る延べ地域活動者数	92	3,026	4,680	64.7%	家庭や地域の大人が交流しあい、地域活動に参加し、子どもたちを育みながら、参加した大人たちにも学びがあるような循環的で効果的な地域全体で取り組む事業の推進が必要である。このため、地域や家庭において指導者となる人材の育成・確保について、専門的な人材養成機能の整備に取り組むこと。さらに、企業も含めた地域ぐるみの取り組みを進めるとともに、住民ニーズの高い宮っ子ステーション事業についても一層の充実を図ること。	25.2%	70.2%
3	生涯学習活動への支援充実	生涯学習コーディネーターの人数	24	45	100	45.0%	年次の目標は概ね達成しており、市民の満足度も高い。生涯にわたる学習活動を促進するためには生涯学習活動への支援は必要不可欠である。今後は、地域づくりに貢献する図書館・生涯学習センターとして、より一層の事業充実を図るとともに、市民の教育活動を全市的かつ効率的に支援する基盤として、地域教育を推進する拠点機能を整備していくこと。	34.8%	64.7%